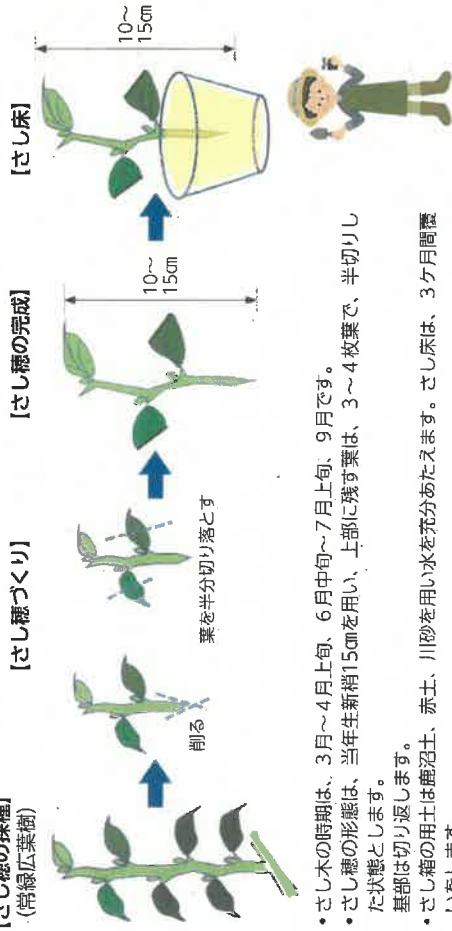


苗木の作り方

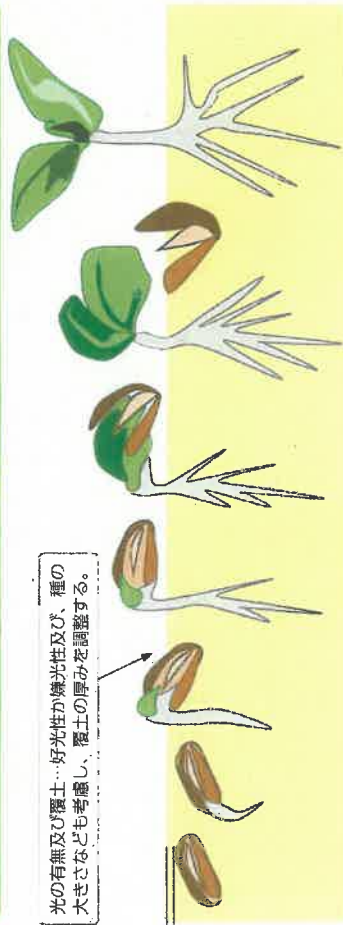
さし木

【さし穂の採種】
(常緑広葉樹)



- さし木の時期は、3月～4月上旬、6月中旬～7月上旬、9月です。
- さし穂の形態は、当年生新梢15cmを用い、上部に残す葉は、3～4枚葉で、半切りした状態とします。
- さし穂の用土は鹿沼土、赤土、川砂を用い水を充分あたええます。さし床は、3ヶ月間覆いをします。

実生



- サカキ・ヒサカキ
 - 熟果期 (10～11月) に果実を採集し、果肉を取り除き、水洗いし陰干します。
 - 種子は乾燥を嫌うので直ちにとりまきするか、低温湿層貯蔵または土中埋蔵をします。
 - 播種
- 取りまきは11月ごろに、播まきは3月頃に播きつけます。播きつけ量は㎡当たり5g (10cc、1000粒) をばらまきます。播種後は乾燥を防ぐための日覆 (透光率50%) と冬季の防寒に注意します。仕立て本数は㎡当たり250本です。幼苗の生長が遅いので、1年据え置く必要があります。

ユズリハ

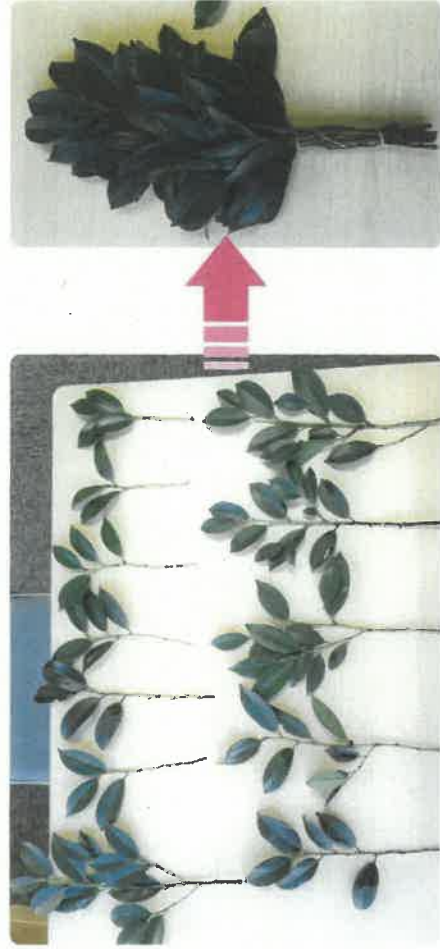
- 熟果期 (11～12月) に果実を採集し、果肉を取り除き、水洗後砂中に埋蔵しておくか、3～5℃での低温湿層処理を4カ月間行った後播種すると、発芽が早くなります。
- 播種床は元肥 (乾燥鶏糞200g/㎡；化成肥料100g/㎡) を施し、耕うん後、90cm幅の上げ床を作り、表面を平らにして㎡当たり10粒をバラまきし、覆土は2cm程度で、その上に薄く敷き藁をします。発芽後2年間は床替えの必要はありません。稚苗は日陰地でもよく育ちますが、やはり日当りのよい適湿地のほうが伸長、肥大ともよくなります。1～2年生は特に寒さと乾燥に弱く、寒い地方では覆除けを行う必要がありますが、その後は耐寒力が付いてきます。

サカキ・ヒサカキ、ユズリハ

あなたも「葉っぱ」をつかったビジネスに取り組みませんか？

「葉っぱ」をつかった
ビジネス

季節の葉や花を、
栽培・出荷・販売する農林業ビジネスのこと。



問い合わせ先

- 福井農林総合事務所：福井市松本3丁目16-10 TEL (0776) 21-8213
- 坂井農林総合事務所：坂井市三国町水居17-45 TEL (0776) 81-3223
- 奥越農林総合事務所：大野市友江11-10 TEL (0779) 65-1492
- 丹南農林総合事務所：越前市上太田町41-5 TEL (0778) 23-4961
- 嶺南振興局二州農林部：敦賀市中央町1丁目7-42 TEL (0770) 22-0291
- 嶺南振興局林業水産部：小浜市遠敷1丁目101 TEL (0770) 56-2218
- 総合グリーンセンター：坂井市丸岡町楽間15 TEL (0776) 43-6503